

教科	技術	学年	2学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1-1 生活や社会と生物育成の技術 (p108-109)		○生物育成の技術に込められた技術のしぐみに気づく。		・生産物に込められた工夫を読み取り、生物育成の技術が最適化されてきたことに気付いている。	・進んで生物育成の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。
1-2 さまざまな生物育成の技術	5	○作物を栽培する意義について知る。 ○作物の育成環境の調節方法について知る。 ○作物の栽培の管理作業について知る。 ○動物を飼育する意義について知る。 ○動物の育成環境の調節方法について知る。 ○動物の飼育の管理作業について必要な技術を知る。 ○水産生物を栽培する意義について知る。 ○水産生物の栽培環境の調節方法について知る。 ○水産生物の管理作業について知る。 ○森林を育成する意義について知る。 ○森林育成の管理作業について知る。	・作物、動物及び水産生物の成長、生態などについての科学的な原理・法則を理解している。 ・生物の育成環境を調節する方法などの基礎的な技術のしぐみを理解している。		・生物を育成することの意義に関心をもっている。 ・進んで生物育成の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。
2 生物育成の技術による問題解決	5	○生物育成の技術を利用した問題解決の手順を知る。 ○設定した課題に応じて育成計画を立てる。	・生物育成の技術を利用した問題解決の流れを理解している。 ・育成計画に沿い、観察や検査の結果をふまえ、安全・適切に育成環境の調節や、作物の管理・収穫ができる。	・生物育成の技術が地域の自然環境に及ぼす影響に関わる問題を見いだして課題を設定できる。 ・条件をふまえて課題の解決策を構想し、育成計画表等に表すことができる。 ・育成計画に基づき、記録と作物の生育状況から、合理的な解決作業を決定できる。 ・自らの問題解決の工夫を、生物育成の技術の見方・考え方に照らして整理するとともに、課題の解決結果を記録に基づいて評価できる。	・身の回りや社会の生物育成の技術に関する問題に関心を持っている。 ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 ・自らの問題解決とその過程をふり返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。
3 これからの生物育成の技術	1	○生物育成の技術での学習をふり返り、技術の見方・考え方について確認する。 ○生物育成の技術の評価し、適切な選択と管理・運用のあり方について考える。	・これまでの学習と、生物育成の技術が生活や社会に果たす役割や影響をふまえ、生物育成の技術の概念を理解している。	・生物育成の技術の評価し、適切な選択、管理・運用のあり方について意見をまとめることができる。	・よりよい地域社会の構築を目指して、生物育成の技術を進んで工夫し創造しようとしている。
1-1 生活や社会とエネルギー変換の技術		○エネルギー変換の技術に関する製品に込められた技術のしぐみに気づく。		・製品に込められた工夫を読み取り、エネルギー変換の技術の見方・考え方に気付いている。	・進んでエネルギー変換の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。

1-2 電気の供給と利用	10	○発電のしくみを理解する。 ○エネルギーの変換効率について理解する。 ○エネルギーミックスの必要性について理解する。 ○私たちが利用している電気の供給のしくみを理解する。 ○身の回りにある電源の種類について理解する。 ○電気機器を安全に利用するためのしくみを理解する。 ○電気機器の定格について理解する。 ○電気エネルギーの光・熱・動力への変換のしくみと技術的な工夫・特徴を理解する。 ○身近な電気機器の構成を、回路図を使って表す方法を理解する。 ○電気機器を保守点検する方法を理解する。 ○電気機器の適切な保守点検ができる。	・自然界にあるエネルギー源から電気エネルギーへの変換方法を安定した電力供給のしくみを理解している。 ・電源の種類とそれぞれの特徴を、電気の特性等の原理・法則に基づき理解している。 ・電気機器の定格に基づき、安全に利用するためのしくみを理解している。 ・電気エネルギーを、光や熱、動力、音、信号に変換するしくみを理解している。 ・電気回路を回路図を使って表すことができる。 ・電気回路の特性や電流の流れを制御するしくみについて理解している。 ・工具等を適切に用いて、電気機器の保守点検を行うことができる。		・進んでエネルギー変換の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。 ・電気機器を安全に利用しようとしている。
1-3 運動の利用	3	○機械を構成する要素を理解する。 ○動力を生み出すしくみについて理解する。 ○回転運動を伝達する技術のしくみについて理解する。 ○運動を変化させるための機構のしくみについて理解する。 ○共通部品や規格等の役割、保守点検の必要性について知る。 ○機械製品の適切な保守点検ができる。	・動力を伝えるためのしくみとそれらの特徴を理解している。 ・運動を変化させる技術のしくみや、力や運動を保存し利用する技術のしくみについて理解している。 ・機械部品を固定する方法や、共通部品の規格について説明することができる。 ・機械を適切に保守点検することができる。		・進んでエネルギー変換の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。 ・機械を保守点検し、適切に利用しようとしている。
2 エネルギー変換の技術による問題解決	9	変換の技術を利用した問題解決	・エネルギー変換の技術を利用した問題解決の流れを理解している。 ・図を用いて、製作品が動作するしくみを説明できる。 ・製作に必要な図をかき表すことができる。 ・安全で適切な製作、実装、点検及び調整ができる。	・既存の製品に問題点を見いだして、必要な機能に気付くことができる。 ・製作品の目的に対して適切な部品を選択できる。 ・適切な作業を計画できる。 ・設計や製作の過程に対する改善を考えることができる。 ・製作品の機能を評価し、改善点を考えることができる。	・製作品に必要な機能について考えようとしている。 ・自らの問題解決とその過程をふり返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。
3 これからのエネルギー変換の技術	2	○エネルギー変換の技術での学習をふり返り、技術の見方・考え方について確認する。 ○エネルギー変換の技術を評価し、適切な選択と管理・運用、改良、応用のあり方について考える。	・エネルギー変換の技術を適切に利用することで実現される、持続可能な社会について理解している。	・エネルギー変換の技術を評価し、適切な管理・運用の仕方や改良の方向性について意見をまとめることができる。	・持続可能な社会の実現に向けてエネルギー変換の技術を工夫して活用したり、新たなエネルギー変換の技術を創造したりしようとしている。